

スクールカウンセラーからのおたより

天と地の大トラブルが続いた長い夏も、ようやく終わりました。短い秋ですが、小さな季節の合図に何か気づくことができるとうれしいですね。

3年生の教室では進路の話が現実のものになってきました。もう決まった人もいるかもしれませんが、まだ迷っている人もいるかもしれません。1・2年は先輩の動きを見ながら考え始めるころでしょうか。これで一生が決まると思うと、迷うし、あせるし、これで良かったのかと自信がなくて、苦しいと感じるかもしれません。この時期、みんな期待と不安でちょっと敏感になります。

でも本当は、やっと大人に近づいていくこれからこそ、もっと視野が広がり興味が増えていくし、いろいろな人や出来事にも出会うのですから、これと決めた方向がこの先だんだん変わっていくことは当たり前のことです。つまり今、一生を決めることは無理な相談なのです。今は「**大体の方向を決めていく時だ**」と思ってみるのはどうでしょう。今、興味を持っていること、今、手の届く所からまず歩き始めてみる。歩くうちに、だんだん、自分のやりたかったことに近づいていく感じ、ふと別の道にも気づく感じになっていくのです。多くの大人たちは、そうやって今の道を見つけているのだと思います。

回り道をする少しの勇氣を持っていれば大丈夫。世の中には、まだあなたの知らない様々な道があります。あなたが一人前になるまでには、まだまだたくさんの時間があります。今はこれだと思えるものに力を注いでみましょう。そして次の何かを見つけたら、それも試してみましょう。

もしかしたら失敗したかなと思う時、苦しくてたまらない時があるかもしれませんが、そんな時こそ、信頼できる大人と話してみてください。大人と話してみると、少しずつ自分の変化がわかってくるものです。もしよければ相談室にも来てみませんか？一緒にそのちょっとした気づきをさがしてみましょう。

10月の面接は10/19(金)の予定です。相談の申込みは、担任・養護の先生・相談担当の先生方にたずねてください。



スクールカウンセラー